

平成29年8月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,467	8,846	4,505	4,341	37	44
2 千 石	3,985	6,854	3,448	3,406	△ 17	△ 17
3 内 山	5,416	7,607	4,047	3,560	15	16
4 大 和	3,410	6,719	3,323	3,396	8	△ 6
5 上 野	7,245	15,363	7,663	7,700	11	16
6 高 見	7,243	13,463	6,469	6,994	8	8
7 春 岡	6,821	10,927	5,777	5,150	20	36
8 田 代	11,447	21,907	10,587	11,320	△ 14	△ 13
9 東 山	10,322	19,500	9,608	9,892	35	82
10 見 付	4,366	8,296	4,187	4,109	△ 34	△ 36
11 星 ケ 丘	3,511	6,912	3,136	3,776	10	18
12 自 由 ケ 丘	3,552	7,324	3,336	3,988	△ 8	△ 13
13 富 士 見 台	6,441	15,461	7,139	8,322	△ 7	△ 39
14 宮 根	3,846	8,428	4,033	4,395	3	△ 19
15 千 代 田 橋	3,588	8,500	3,975	4,525	8	3
千 種 区 計	86,660	166,107	81,233	84,874	75	80
H28. 8. 1	85,760	164,975	80,578	84,397	57	28
対 前 年 比	900	1,132	655	477	18	52
名 古 屋 市	1,086,603	2,312,995	1,142,551	1,170,444	730	875
愛 知 県 (H29. 7. 1)	3,145,423	7,523,031	3,764,120	3,758,911	2,497	1,997

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	110	114	△ 4	1,074	990	84

【参考】

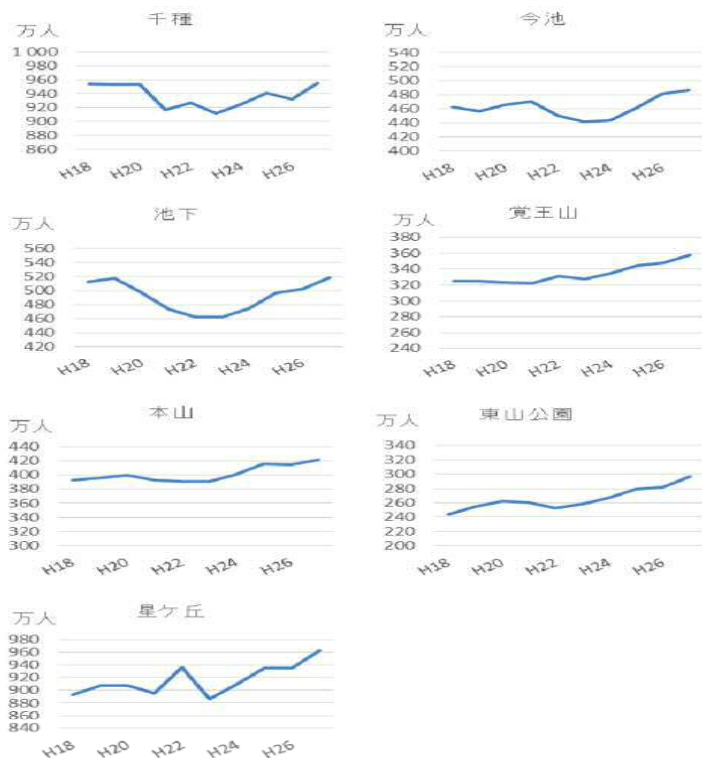
国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118		
平成2年	156,478	平成22年	160,015	これまでの最少人口	
平成7年	148,847	平成27年	164,696	146,727 (平成11年4月1日)	

注) 世帯数と人口は、平成27年国勢調査結果確定値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

千種区内の地下鉄各駅の乗車人員の状況

平成29年8月1日現在の千種区の人口は166,107人となっており、世帯数は86,660世帯となっています。今回は、千種区内にある地下鉄各駅の乗車人数の状況を見てみます。

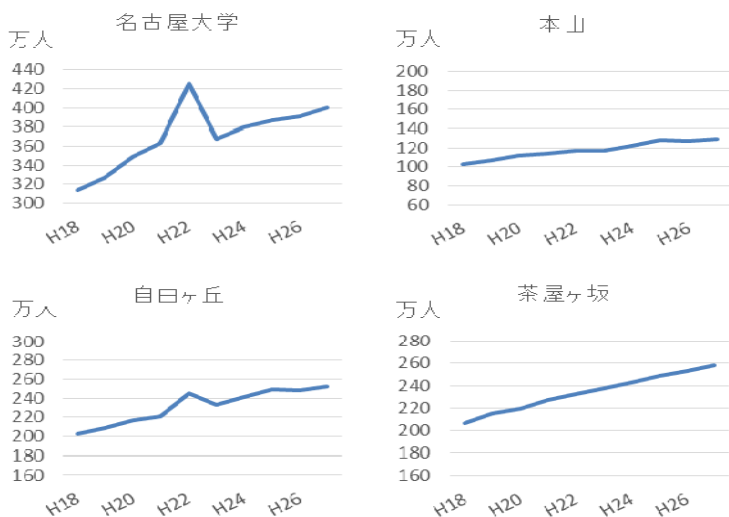
図1：千種区内の東山線各駅の乗車人員数



まず、千種区を東西に横断している東山線を見てみると、平成27年度の乗車人員数は、多い順に星ヶ丘（約962万人）、千種（約955万人）、池下（約518万人）、今池（約487万人）、本山（約421万人）、覚王山（約357万人）、東山公園（約297万人）となっています。商業が盛んな地域や、学校の多い地域に位置する駅が上位になっています。

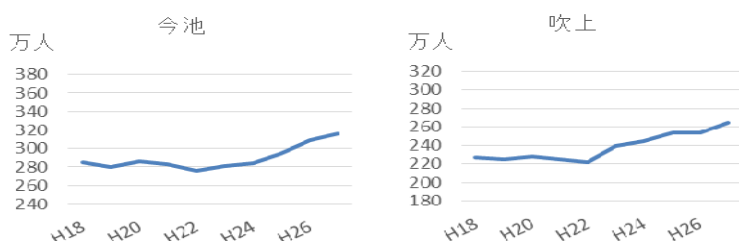
平成23年までは、千種、今池、池下は減少傾向、覚王山、本山、東山公園はほぼ横ばい、星ヶ丘は平成22年に急増し翌年に減少するなど様々でしたが、平成24年以降は全部の駅で増加傾向となっています。

図2：千種区内の名城線各駅の乗車人員数



つぎに、千種区を南北に縦断する名城線を見てみると、平成27年度の乗車人員数は、多い順に名古屋大学（約400万人）、茶屋ヶ坂（約258万人）、自由ヶ丘（約253万人）、本山（約130万人）となっています。名古屋大学、自由ヶ丘で平成22年に急激に増加し翌年に減少したのを除けば全ての駅で増加傾向が続いています。

図3：千種区内の桜通線各駅の乗車人員数



最後に桜通線を見てみると、平成27年度の乗車人員数は、今池（約315万人）、吹上（約265万人）です。両駅とも平成22年頃までほぼ横ばいでしたが、その後は増加傾向が続いています。